

# ヒメザゼンソウ

*Symplocarpus nipponicus* Makino  
サトイモ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

産地が限られ、個体数も少ない。

## 分 布

北海道～本州（日本海側）に分布する。県内では嶺南と奥越に分布し、産地が限られる。

## 種の特徴

森林の林縁や道ばたの湿地にはえる多年生草本。早春に葉をだす。葉は根生して長い柄があり、長卵状心形または卵状長楕円形。葉が展開した後、花序をだす。花序を覆う仏炎苞は暗紫褐色で、長さ約 4 cm、卵円形で肉厚。花期は 6 月。

## 生育を脅かす要因

林道の新設・拡幅等の開発工事による生育環境の破壊が生育を脅かす要因となる。またマニアによる園芸採取の対象となりやすい。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982a）、奥田重俊編（1997）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○		○									○	○	

# ヤナギスブタ

*Blyxa japonica* (Miq.) Maxim. ex Asch. et Gürke  
トチカガミ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

生育環境が用水路や浅い池等の湿地に限定され、水辺の開発や管理放棄の影響を受けやすい。

## 分 布

本州～琉球に分布し、県内一円で記録がある。

## 種の特徴

水田や溝に生える一年生の沈水植物。茎はよく分枝し、長さ 30 cm ほど、下部の節から根を出す。葉は互生し、長さ 3～5 cm、幅 2～3 mm、細かい鋸歯がある。花期は 8～10 月。花弁は 3 個、細長く、白色。

## 生育を脅かす要因

湿地の開発や管理放棄による遷移の進行。

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○		○	○			○		○	○			○	○

# ササバモ

*Potamogeton wrightii* Morong  
ヒルムシロ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

分布域において生育環境が変化して、生育地、個体数とも減少している。

## 分 布

本州（関東地方以西）～九州に分布する。県内一円に分布する。

## 種の特徴

湖沼、河川、用水路に生育する沈水性の多年生草本。茎は円形で、葉は互生。沈水葉は長楕円状線形～狭披針形。葉先は鋭く、葉縁には鋸歯がある。花期は 6～10 月。花茎は長さ 4～11 cm。水が引いた場合は陸上でも生育する。冬には地下茎の先端に殖芽を形成して越冬する。

## 生育を脅かす要因

池沼開発、河川改修工事が生育地、個体数とも減少させている。水田付近の生育地は著しく減少した。また自然遷移も進んでいる。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○				○				○	○	○		○	○	○